

国家的緊急課題に関する特別議会演説

IX Space

翻訳 (文責: 荒井)

「自由主義」と「専制主義」との戦いに勝つためには、最近のスプートニクの劇的な成功により明らかになった様に、我々は宇宙への冒険に挑む道を選ばなければならないと考える。私は、大統領に就任して以降、宇宙開発に関する米国の施策をレビューする必要性に迫られている。また、宇宙諮問委員会の議長を務めるジョンソン副大統領は、米国の強みと弱みについて、また米国が成功していることと失敗したことを確認する必要があるとアドバイスしてくれた。

今は、力強い第一歩「新しい米国の冒険の道」に踏み出す時であり、米国は宇宙開発の分野で指導的な役割を担わねばならないと考える。これは、恐らく地球の未来を切り開くカギになると思われる。

私は、米国はこれに必要な全ての資源・能力を持ち合わせていると信じている。しかし、この問題の本質は、我が国がこの様なリーダーシップを発揮する為に必要とされる**国家としての決断**、乃至は**国家の資源を統率する仕組**を持ち合わせていなかったことにあると考える。また、我が国は差し迫ったタイム・スケジュールに関して、**長期的な目標の中の位置づけが出来ていないか**、あるいは**目標達成を保証する為の資源の管理が出来ていなかった**と思われる。

ソ連は、保有する大型ロケットによって、宇宙開発における有利なスタートを切り、それによりソ連は数十ヶ月の開発上のリードを得ることにより、更に**世界に感銘を与える成功を収めた**としても、我々は、我国自身の新しい目標に向かって努力を行う必要がある。いつの日か米国が開発第一線に躍り出ることは保証できないものの、我々の絶え間ない努力はいつの日か終わりを告げるに違いない。

米国は、世界中の人々が注目する中で更なるリスクを負うことを厭わない国である。1961年5月5日、レッドストーンにより有人宇宙飛行を行った宇宙飛行士シェパードの偉業によって示された様に、このリスクを負う事こそ成功した時の**進歩を際立たせる**ことになる。

しかし、宇宙開発競争は単なるレースではない。宇宙は今も我々の前に開かれており、我々の宇宙開発に向けた熱意は他の国（ソ連）の努力によって影響を受けてはならない。「**我が国は宇宙を目指す、何故なら人類がそれを成し遂げなければならないから、自由な人々こそその果実を受けなければならないから**」

それ故私は、以下の国家目標を達成する為に、以前私が宇宙開発の為に要求した額を超える財源を用意するよう議会に要請する；

1. 米国は**この先10年以内に人間を月に送り、安全に帰還することを約束する**ことが出来ると信ずる。恐らくどんな宇宙開発計画もこれ以上の感動を与えるものは無く、長期の宇宙開発計画にとってこれ以上に重要なものはなく、更にこれ以上に困難、且つ費用の掛かる計画はない。

我々は、適切な月宇宙船の開発を加速する。また我々は、現在開発済みのものに比べてずっと大きい新しい液体燃料と固体燃料のロケット・ブースターを開発する。

我々は、そのほかに**新しいロケットエンジンの開発**、及び**無人探査機開発**に必要な財源を要求する。この開発は、この大胆な計画を最初に実施する宇宙飛行士を生還させる為に決して見過ごしてはならないものである。しかし非常に現実的な意味で、もしこの計画に合意すれば、月に行くのは宇宙飛行士だけではなく、**国家全体で彼らを送り込むことになる**。我々は全員で彼らを月に送り込むために仕事をしなければならない。

2. 既に承認を得ている 700 万ドルに加え、追加の 2,300 万ドルは、原子力ロケット「ROVER」の開発を加速する財源になる。このロケットは、いつの日か更にわくわくさせる様な野心的な宇宙開発のための手段を提供することになる。多分この開発計画は月を超える宇宙、太陽系を超える宇宙の探索に手段を提供することになる。

3. 追加の 5,000 万ドルの財源は、現在米国が主導的な役割を果たしている世界をカバーする衛星通信システムの拡充に使われる。

4. 追加の 7,500 万ドル（内 5,300 万ドルは、米国気象局の為の財源）は、世界をカバーする衛星気象観測システムの構築に使われる。

以下を明確にしておきたいと思う；

- ①「これは同時に議員の皆さん及び米国民がこの新しい決定に責任を持つ（commitment）ということ」、また、
- ②「この決定は、長い年月に亘って継続すると共に、1962 年度には 5 億 3,100 万ドルという重い負担が発生すること」、更に、
- ③「今後 5 年間に 90 億ドルの負担が発生することが予想されること」

もし我々が、この行程の半分で諦めたり、困難に直面して当初の展望を縮小する様な事があれば、「私の考えではこの計画は捨ててしまった方がいい」と思う。

今、米国は選択すべき時にある。私はこの議会の宇宙諮問委員会、及びその他適切な委員会のリーダーシップの下でこの問題を注意深く検討してくれることを信じている。国家としてこの決定は重要なものです。しかし、皆さんはこの 4 年間に宇宙開発の重要性と宇宙における冒険を見て来たはずで。また、誰も宇宙を開発することの究極の目的が何であるかを予想することはできません。

私は、米国は月に行くべきだと思う。しかし、この国の全ての国民及び議員の皆さんはこの問題を判断する前に注意深く考えるべきであると思う。この問題に対して、我々は数週間、数ヶ月に亘って注意深く検討してきたが、これは非常に重い負担であり、**もし米国が十分に準備を行い成功するための重い負担に耐えることが出来ないのであれば、この問題に希望を抱いたり賛成したりするべきではないと思う**。もしそうでないなら、**今日、あるいはこの年に決断すべきである**と思う。

この決定は、科学・技術に関わる人材、材料・施設などを占有することとなり、また既に枯渇している他の重要な国家レベルの諸活動の為のリソースを流用する可能性もある。これは、常に研究・開

発分野に関わるリソースの分配に関わる事ではないものの、この問題に対する姿勢 (dedication)、組織、規律に関わる事を意味する。また、これは甚だしい業務の停滞、材料や人材に関わるコストの高騰、消耗する当局間の抗争、高い有能なキーパーソンの転職などを招くかもしれない

新しい目標、お金がこれらの問題を解決することはできない。これらの問題は、「**全ての科学者、技術者、軍人、契約企業、役人、国家が、素晴らしい宇宙の冒険に向かって最速の自由度で前進する**」ことを誓わなければ、実際はうまくいかない。既に宇宙開発の重要性和宇宙における冒険を見て来たはずだ。また、誰も宇宙を開発することの究極の目的が何であるかを予想することはできない。